

定例市長記者会見

日 時：2月17日(金) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、共同通信社

本日の案件は、3つです。

1番目は「令和4年度3月補正予算(案)に計上された主な事業」についてです。

No.1「弁護委託料」

千秋町浅野羽根に建設が予定されている民間の物流倉庫について、開発許可の取消しを求める訴訟に係る弁護士への着手金です。

No.2「弁護委託料」

元教員から損害賠償請求の訴訟が起こされたため、これに係る弁護士への着手金です。

No.3「各種基金の積立て」

財政調整基金積立金5億円と公共施設整備等基金積立金6億円の合計11億円です。

No.4～12

すべて建設・建築関係で、実際には令和5年度に工事を行うものです。国からの補助金・交付金等のうち、令和4年度内に交付決定されるものを予算計上して、新年度予算に繰り越します。

2番目は「令和5年度一宮市予算の概要」についてです。

一般会計が1,258億1,000万円で、前年比で36億5,000万円増(3.0%増)となり、過去最大規模です。平成30年度から毎年、過去最大を更新しています。歳出増の主な項目は、民生費の福祉関係で、高齢者福祉・障害福祉などで約8.5億円増(1.6%増)です。衛生費のコロナ対策が20.4億円増(18.1%増)で、まだ減少に転じない状況です。特別会計・企業会計を含めた全会計については、合計2,542億1,368万4,000円で、こちらも過去最大規模の予算です。歳入は、市税が上向きの状況が続いており、個人市民税は給与所得が増える見込みで、固定資産税も新築・増築などで税収が増える見込みです。法人事業税交付金や地方消費税交付金は、一旦、県や国に納められた税のうち市に交付される分で、こちらもかなり増える見込みです。

3番目は「令和5年度一宮市の予算 イチ推し20」についてです。アフターコロナを見据えて、地域を元気にできるようなプロジェクトを進めていきたいと思えます。

No.1「女性活躍推進シンポジウム開催事業」

今年は、市川房枝さん生誕130周年です。同じく一宮市出身の活躍した女性で三岸節子さんがおみえになりますので、女性の活躍を考えるシンポジウムを秋以降に開催します。

No.2「特殊詐欺対策装置購入費補助事業」

残念ながら詐欺の被害が多く、令和4年は市内だけで1億円以上を詐取されています。

その対策として、高齢者だけでお住まいの世帯に、録音機能やシャットアウト機能が付いた電話機等を購入された場合は、費用の半額を補助します。

No.3「職員のリスクリング促進・ICTスキル研修事業」

民間企業の社員の場合、雇用保険から勉強した受講料等の70%が給付される制度がありますが、公務員にはありません。リスクリング（学び直し）として、デジタル関連だけでなくスキルアップを目指す市職員を応援できる仕組みを設けます。

No.4「子どもの居場所づくり補助事業」

いわゆる子ども食堂のように、お子さんの居場所づくりに頑張っている団体が増えており、そうした団体を支援する補助事業です。

No.5「公立保育園利便性向上事業」

保育園と保護者との連絡を、アプリでできるシステムを導入します。令和4年度に一部の園で先行導入しており、新年度に52園で本格導入します。

現在、保護者にお持ち帰りいただいている使用済おむつを保育園で処分します。さらに、おむつの定期購入サービスを希望される場合は、事業者と直接契約していただくことで、事業者から直接保育園に配送します。これらにより、保護者の手間が省けることを期待しています。

No.6「住宅用地球温暖化対策設備設置補助事業」

環境にやさしいエコな地域を目指し、各家庭で太陽光発電システムなどを導入する際に補助をしていますが、さらにZEH（ゼッチ：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略）も支援するメニューを追加します。

No.7「奨学金返還サポート補助事業」

奨学金を利用する大学生は今でも多く、約半分の方が社会に出て働きながら奨学金を返済されているというデータがあります。こうした若者を支援する企業を市が支援することで、人材の確保や地域の産業の発展にもつながるように、新しく補助事業を始めます。

No.8「BISHU FES. 支援事業」

繊維産業だけでなくアートや食品など、この地域のものを幅広くPRすることを考えています。11月頃を目途に、特に若い女性に訴求の高い東京ガールズコレクション（TGC）さんと組んで、イベントを実施する準備をしています。

No.9「観音寺駅前広場整備事業」

現在、名鉄尾西線の鉄道高架事業の工事が2km弱予定されており、この事業に合わせて観音寺駅前をきれいにして、車での送迎ができる広場や駐輪場を整備します。

No.10「名岐道路整備促進・スマートIC設置検討事業」

名岐道路の整備については、昨年5月に素案を作成し道路の高架化と高速化を一度に実現できるという提示をさせていただきました。引き続き、県が主体となって進める都市計画の手続きと環境影響評価に協力してこのプロジェクトを進めていこうと考えています。

スマートインターチェンジについては、先週、岩倉さんと一緒に要望活動で国土交通省に足を運びました。尾張一宮パーキングエリアを優先検討箇所として、国の早期採択を

目指して働きかけてまいります。

No. 11 「富田山公園再整備事業」

富田山公園の南に建設中の新濃尾大橋（仮称）があと 1 年余りで開通する予定で、木曽川沿いの水辺空間の魅力アップを加速させていきたいと考えています。これに伴い、3 月市議会定例会へ発展的解消を目指し、尾西市民プールの廃止について議案を提出させていただきます。

No. 12 「狭あい道路対策事業」

市内に残る狭い道路について、土地の所有者を支援することで道幅を広げていただくという新しい枠組みを用意するものです。

No. 13 「市営住宅管理事業」

これまで市営住宅への入居条件として連帯保証人が必要でしたが、身寄りのない単身高齢者の方も増えています。保証人の確保にこだわりすぎでは、セーフティネットとしての役割を果たせないとのこと指摘もあり、新年度から制度改正により連帯保証人を廃止することを議会に提案させていただきます。

No. 14 「流域貯留施設築造事業」

市の東側エリアに位置する新川流域の治水対策です。2000 年に起きた東海豪雨の反省もあり、雨水を貯める地下貯留槽を新川流域に重点的に増やしています。新年度は、多加木・大平島・森本中央の各公園でそれぞれ事業を進めます。

No. 15 「学校給食費保護者負担軽減補助事業」

学校給食審議会から答申がありましたが、給食費を値上げしないと食材の確保が困難な状況です。そのため、一食あたり小学校で 250 円から 285 円に、中学校で 285 円から 325 円にそれぞれ値上げします。令和 4 年度に給食費無償化を一時期実施していたこともあり、一度に値上げすると保護者の方の負担が大きいため、激変緩和もあり補助金を使って負担が急に増えないようにしながら、お子さまに栄養のある給食を提供したいと考えています。

No. 16 「東京 2020 米国代表ホストタウン事業」

東京 2020 パラリンピックでは、一宮市はアメリカのホストタウンでしたが、コロナ禍のためアメリカ女子シッティングバレーボールチームにお越しいただけませんでした。彼女たちが金メダルを取ったこともあり、ぜひ交流行事を行いたいということをメールなどで連絡を続けており、新年度こそ実現するために予算を計上しました。

No. 17 「自己採血検査事業」

若年層に、できるだけ若いうちから健康を意識してもらうため、25 歳から 39 歳までを対象に人間ドックを実施しています。さらに若い世代にも健康への意識を高めてもらう仕組みとして、国民健康保険に加入している 20 歳から 29 歳を対象に、スマホで簡単にできる自己採血検査事業を実施します。

No. 18 「短期介護予防・誤嚥予防事業」

高齢者の方を対象に行う事業で短期介護予防事業は、6 カ月間の短期集中コースで、フレイルといわれる加齢による心身の衰えを防ぎ、元に戻していこうというプログラムです。

誤嚥予防事業は、歯科医師会にご協力いただきながら口腔機能の低下を防ぐような、誤嚥予防プログラムを早いうちから意識をしてやっていただくために進めようと考えています。

No. 19 「AI 問診システム活用事業」

市民病院の救急外来で AI を使った問診システムを導入することで、待ち時間対策や医師の負担軽減、トリアージという傷病の重症度や緊急度に応じた優先順位の判断のレベルアップに繋げようというものです。

No. 20 「下水汚泥資源の脱炭素化事業」

これまでは下水道汚泥のほとんどをセメントの原料にリサイクルしていましたが、新年度は約 7 割を堆肥にリサイクルする予定です。窒素・リン・カリウムなどの肥料は、ロシア産の占める割合が高く、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で大変値上がりしています。食料安全保障の観点からも下水道汚泥の堆肥化を推進する声が高まっており、また三河地域の事業者による汚泥の受け入れの目途が立ったことから、堆肥へのリサイクルを進め、肥料不足に対応できればと考えています。

3 番目は、3 月市議会定例会単行議案の主なものです。

「議案第 22 号 一宮市営地下駐車場基金の設置及び管理に関する条例の制定について」です。まちなかウォークアブルなどに関連してこれまでご説明申し上げておりますが、銀座通公共駐車場の整備に向けて資金を積み立てます。

「議案第 23 号 一宮市手数料条例の一部改正について」です。これまで窓口でしか取得できなかった所得課税証明書・非課税証明書がマイナンバーカードを使って新たにコンビニで取得できるようになります。証明書の交付手数料は、市の窓口では 300 円ですが、令和 5 年度は、コンビニでマイナンバーカードを使えば 100 円で入手できるようになります。

以上、本日の説明でございます。

■令和 5 年度予算について

(記者) 令和 5 年度の予算は、どのようなコンセプトで編成されたのでしょうか？

(市長) 3 月 13 日からマスク着用が自己判断となり、5 月 8 日から「2 類相当」から「5 類」に移行しますので、“コロナを乗り越えるため”の予算と考えています。コロナを乗り越え、未来に向けて頑張るための後押しができるようなプロジェクトに比重を置き、予算を配分しました。例えば、子どもの居場所づくりや奨学金の返済で頑張る若者など、地域で未来に向けて頑張っている人たちを応援できればということで、新しい取り組みを入れています。

(記者) 衛生費のコロナ関連の予算としては、感染症患者配食サービス事業委託料や感染症検査委託料などでしょうか？

(市長) はい、そうです。ほかにも、自宅療養者等への医療提供事業交付金もあります。法律上のコロナの位置付けは変わりますが、医療従事者や関係する皆さまの活動に対しては、しっかり予算措置を行う必要がありますので、これらの予算が増額するのはやむを得ないと考えています。

(記者) 市営住宅管理事業での連帯保証人の廃止については、平成 30 年に国土交通省から通知が出されていましたが、来年度に実施するのはなぜですか？

(市長) 通知から少し時間はかかったかもしれませんが、条例改正した後に想定される実務上での万が一への対応に、十分な仕組みを考えるために必要な時間であったと受け止めています。

(記者) 一宮市の独自色の強い取り組みは何ですか？

(市長) 一つは女性活躍推進シンポジウム開催事業で、女性の活躍について考えるとともに、市川房枝さんの生誕 130 周年に合わせ、市川さんの生家跡地を顕彰施設として公園に整備する事業を進めていますので、併せて PR したいと考えています。もう一つ、東京 2020 米代表ホストタウン事業で、ハンディキャップを持ちながらも頑張っている人たちにスポットを当てることで、市民の皆さまを元気付けることができると考えています。それとは別に、盛り上げていきたいものとして、BISHU FES. があります。11 月に開催をする予定ですが、その頃はアフターコロナの時期になると思いますので、地域が元気になるように、皆さまがマスクなしで盛り上がって欲しいと思います。

(記者) 令和 4 年度から取り組んでいる「デジタル」と「グリーン」については、どうですか？

(市長) 「グリーン」については、4 月から新条例が施行されますが、その下部法令についても実効性のあるものを整え、しっかり運用していきたいと考えています。

「デジタル」についても、ウェルネスとウェルビーイングの分野に、令和 5 年度中に補正対応したいと考えています。公約にもあげましたが、民間企業で経験のある外部の人材を迎え入れて、官民連携で多くの企業とプロジェクトを進めていきたいと考えています。

(記者) 予算額の大きなもので、特色のある事業は何ですか？

(市長) 下水汚泥資源の脱炭素化事業です。職員の頑張りで汚泥を引き受けいただく県内の事業者が見つかりましたので、愛知県内で脱炭素の循環型社会のサイクルを作るために取り組んでまいります。

(記者) 名岐道路に関する事業について、どの様にお考えですか？

(市長) 大きなプロジェクトですので、細部を詰めていくと考えなければならないことがいろいろと出てきます。例えば、名岐道路を高架にするためには、区間中の数々の信号や横断ボックスをどうやって集約するのか調整が必要となりますので、まだしばらく時間がかかると考えています。高速道路に関して言えば、名神高速道路で事故があった場合、一宮 IC から羽島 IC の間は一宮消防が担当するルールとなっています。大きな規模の事故になると救急車が全て出動しますので、その間に市民から救急要請があった場合、対応が難しくなってしまいます。この区間では渋滞や事故が頻発していますので、早くなんとかして欲しいという思いはあります。現在、一宮 IC と一宮 JCT 間で実施中の暫定 3 車線化の工事が完了すれば、渋滞や事故が緩和

されると考えています。

■消防職員の不祥事について

(記者) 消防職員の不祥事が続っていますが、どのように受け止めていますか？

(市長) 遺憾に思います。3月定例会で、市民の代表である市議会議員からさまざまな質問や意見があるかと思しますので、どのような措置ができるかなど、議会の場でしっかり説明できるよう最終整理をしています。